

# 建設新聞

2009

6月26日

金曜日

## 人物

### 若手技術者の育成が急務

日本建築構造技術者協会東北支部長に就任した

加藤 重信氏

◎……5月22日の総会で新支部長に就任した。改正建築基準法の施行から2年が経過し、さらに昨年11月には、改正建築士法に基づく構造設計一級建築士制度が新たにスタート。これら設計業界に押し寄せる大きな

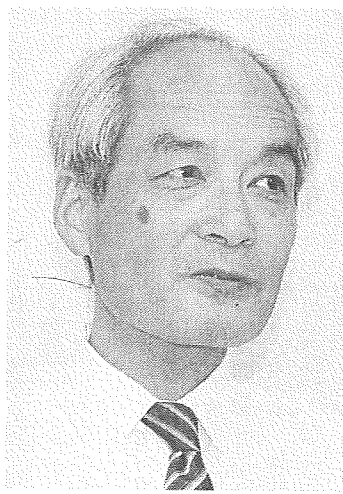
波に、「任期となる今後2年は、われわれにとつて大変な年になる」と強調した上で、新年度は▽若手構造設計者の育成▽みんなで活動する▽理解者を増やすの3点に力を入れる方針を示す。

◎……具体的には、最も深刻な課題として若手構造設計者の慢性的な不足を挙げ、「構造設計技術者の報酬はとも低く、魅力がなければ若手が入ってこない」と指摘する。そこで、東北支部では独自に「若手構造設計者の新規育成プログラム」の立ち上げを目指す。

◎……このほか「東北では、首都圏に比べて物件自体が少なく、規模も小さい」ことなどを背景に、中央との技術格差の広がり懸念する。また、「地元の建物は地元資格者が携わるというスキーム

づくりもわれわれの責務」と強調し、地域の問題を訴えていく。

◎……昭和47年3月、東北工業大学工学部建築学科卒業と同時に安藤建設に入社し、東北支店設計部に配属。その後平成6年1月に同社を退職し、同年4月、カメイに入社。一級建築士事務所長、安全管理室長などを歴任し19年9月に退職した後、19年10月から宮城県建築住宅センター構造判定チームチームリーダーに。また、JSCA東北支部では10年間副支部長を務め、現職。



◎……また、今年度学生のインターンシップの受け入れ体制を構築しようというもので、「東北での構造設計の担い手を継続的に輩出することが必要」と、実現へ向けて意欲を燃やす。

◎……また、今年度

かとう しげのぶ 昭和23年10月24日仙台市生まれ。趣味はクラシックやジャズの音楽鑑賞。信条は「誠実に」。60歳。